

第50回北海道消化器内視鏡技師会研究会評価基準

北海道消化器内視鏡技師会

当会では最優秀演題の選考にあたり下記の内容を基準とし、複数名の審査員により厳正なる評価を行います。

1. 評価点数

下記の5段階評価とする。

- 5点・・・抄録・発表内容が極めて優れている。
- 4点・・・抄録・発表内容は優れている。
- 3点・・・抄録・発表内容は少々の検討が必要であるが、発表には値する。
- 2点・・・抄録・発表内容は不十分であり、見直しが必要である。
- 1点・・・抄録・発表内容は理解できず、発表に値しない。

2. 評価基準

下記の5項目において評価する。

(1) 独創性・新規性

- ①研究者の新しい考えや発想に基づく内容である。
- ②従来提案されていない新しいアイデアを提案している。

(2) 信頼性

- ①目的に対し妥当な研究方法が選択され、そこから引き出されたデータの分析方法は明確に明記されているか。
- ②研究の方法や引き出されたデータが信頼できるものであること。

(3) 有用性

- ①今後の内視鏡分野の発展に役立つ内容であり、内視鏡技師として専門的内容であること。
- ②内視鏡看護など、専門領域の実践に貢献できる内容であること。

(4) 研究の方法が適切である

- ①研究目的・方法・結果・考察・結論が明確に記されおり一貫性があること。
- ②用いられている概念や用語は明確に定義されており一般用語であること。

(5) 発表態度が適切である

- ①「ですます調」であり真摯な態度で発表・質疑応答ができる。
- ②スライドが見やすい。